

今年度の校内研究授業

今年度もすべての学校で研究授業が行われました。どの学校でも、仲間の意見を大事に受け止め、自分の考えを深めていこうとする対話的な授業が展開されていました。その一部を紹介いたします。

【二宮小】

11月に行われた3年生の理科の授業。金色の折り紙は電気を通すのだろうか？本質に迫ろうとする子どもたちの真剣な議論がとても素敵でした。早く実験で確かめてみたい！子どもたちの心の声が聞こえてくるようでした。学ぶ意欲を巧みに引き出す学習計画でした。

【一色小】

1～6年生が授業公開した一色小学校。学習課題の解決に向かって、意見を出し合い、考えをまとめていく姿がどの学年でも見られました。発達段階に応じて授業のハンドルをどの程度子どもたちに委ねていくのか、よく練られていることを感じました。

【山西小】

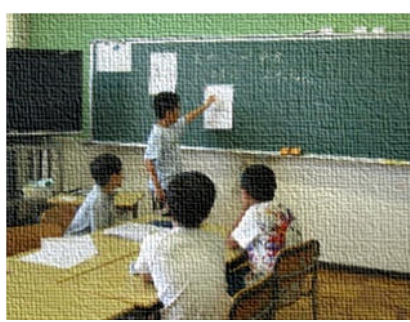
11月に行われた5年生の社会科の授業。どうして日本の工業は海外に生産拠点を移したのだろうか？学習サイクルを確立し、子どもたちだけの力で授業を進めていく姿が素敵でした。自立した学習集団に育っています。VUCA 時代をたくましく生き抜く力が培われていることを実感しました。

【二宮中】

11月に全学級が授業公開した二宮中学校。多様な子どもたちが共に学び、共に育つための温かくて受容的な学校風土を全教職員が大事にしていることを実感しました。また、生徒の学びと教師の学びは相似形であることを意識し、授業後の研究協議の在り方も工夫していました。

【二宮西中】

社会と道德の授業を公開した二宮西中学校。道德の公開授業後に行われた協議会では、小学校教諭も参加して、発達段階を踏まえた話し合い活動のあり方についても話題となり、小学校から9年間を見通し、学びのスタイルをつないでいくことの意義を実感しました。また、生徒の主体性を発揮するために、発問を研ぐことの重要性も再認識する機会となりました。



次年度に向けて

これまでの成果を土台にしつつ、次年度は各校が研究テーマを設定して「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた取り組みを進めていきます。また、学校研究に限らず、あらゆる校務や授業や研究をより効率的かつ効果的に行っていくために、ICT の利活用をさらに進めていきます。

感想等はこちらのフォームをお願いします。

にのみや学園通信 HP

<https://www.town.ninomiya.kanagawa.jp/0000000929.html>

